

教育子ども委員会 2011年度決算審査 岡田ゆき子議員

保育料値上げを許さず、待機児解消を

教育子ども委員会での決算審議で、岡田ゆき子議員は子育て世帯の経済的状況を明らかにしました。

個人所得が子育て世帯に影響

保育料は、世帯の所得税によって決まります。保育料はA～D階層の19段階に分かれています。

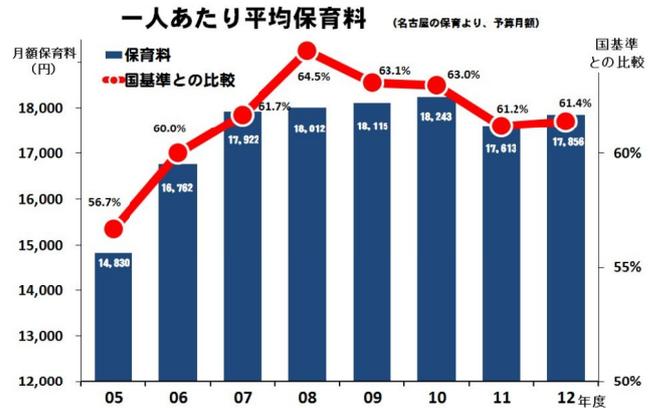
昨年と一昨年の保育料階層別の人数を見ると、2010年に比べ、ABC階層と、D7～13の階層の世帯が増えており、所得に関しては2極化が見られます。ここ最近の傾向ということです。

消費税や控除廃止が暮らしを圧迫

保育料の過去3年間の歳入をみると、2009年度はリーマンショックが直接保育料に影響していなかった時期で、保育料平均は、18,168円、リーマンショックが影響した2010年度の平均保育料は、17,488円と下がっています。2011年度は、17,804円とわずかが上がっていますが、リーマンショック前の状態には回復していません。

保育料所得階層別人員の推移（各年度5月1日現在）

階層区分		2010年度	2011年度		
A階層	生活保護世帯	747	835		
B階層	前年分の所得税非課税で前年度分の市民税額	非課税世帯（ひとり親世帯、障害世帯）	2,506	2,529	
		非課税世帯	2,434	2,640	
C階層	1	均等割のみの世帯	363	412	
		所得割10,000円未満	516	634	
D階層	前年分の所得税額	所得割10,000円以上	1,756	1,346	
		1	1,900円未満	242	242
		2	1,900円～9,400円未満	1,052	1,027
		3	9,400円～18,800円未満	1,295	1,340
		4	18,800円～37,500円未満	2,933	2,820
		5	37,500円～56,300円未満	2,730	2,986
		6	56,300円～75,000円未満	2,633	2,620
		7	75,000円～127,500円未満	4,661	4,867
		8	127,500円～202,500円未満	3,396	3,680
		9	202,500円～277,500円未満	1,764	1,844
		10	277,500円～465,000円未満	1,676	1,818
11	465,000円～652,500円未満	720	735		
12	652,500円～1,037,200円未満	572	590		
13	1,037,200円以上	728	756		
計		32,724	33,721		



ん。さらに、今年から年少者控除廃止となっていますので、それによる税金の値上げと、さらに消費税が増税となれば、子育て世帯へのダブル、トリプルパンチとなって、襲いかかる事になります。

2極化が進めば、低所得世帯への子どもへの影響は深刻です。



何よりも、待機児童が全国1位となった年です。待機児童が多いという事自体、働かなくては行けない家庭が増えた事の証明です。

2011年度は、市長は、保育料の値上げを進めようとしたましたが、市民と議会の反対で、値上げをストップさせました。決算をみればストップして正解でした。

